

I 人づくりや交流による活気あふれる島づくりの推進

現状と課題

- 若者の島外流出による人口減少及び少子高齢化が進行
- 基幹産業の担い手や医療従事者の確保が喫緊の課題
- 担い手不足や高齢化により地域や産業分野で活力が低下
- 地域経済を維持・発展させるためには交流人口の拡大による外貨獲得が必要不可欠
- 地域づくりや産業の振興に寄与する人づくりが求められている

取り組みの方向性

活気あふれる島づくりを推進するため、地域づくりの主体となる人材の育成を進めるとともに、多様な交流やU I ターンを促進するための取り組みを行います。

地域や産業を維持・発展させていくためには、住民自らが考え、行動することが求められています。このため、地域づくりの主体としてリーダーシップを発揮できる人材の育成に取り組むとともに、若者の定住を促進し、隠岐の将来を担う人材を育成するために地域に誇りと愛着を持った子ども達を育てていきます。

また、交流の促進については、隠岐の自然や歴史、文化、産業などの交流素材を活かして、多様な交流機会の提供や受け入れ体制等の整備に取り組めます。特に隠岐ジオパークは、交流促進の重要なツールになり得るものであることから、この活用について積極的に取り組めます。

加えて、人材の確保や、島外経験を活かした新たな取り組みの推進、活気の創出に繋げるため、情報発信の強化や受け入れ体制の整備、関係機関の連携強化など、U I ターンの促進を図るための取り組みを行います。

なお、他の重点戦略においても、共通テーマとして人材の育成・確保に重点を置いた施策を展開していきます。

<主な取り組みの内容>

取り組みの方向性	主な取り組みの内容
1. 人材の育成・確保	<input type="checkbox"/> 研修機会等の提供、職業能力の開発 <input type="checkbox"/> 異業種交流、隠岐4島間の交流等の推進 <input type="checkbox"/> 学校教育におけるふるさと教育等の推進
2. 多様な交流の促進	<input type="checkbox"/> 隠岐の自然・食・文化を活かした多様な交流機会の提供 <input type="checkbox"/> 受け入れ体制等の整備 <input type="checkbox"/> 隠岐ジオパークを活用した世界との交流促進
3. U I ターンの促進	<input type="checkbox"/> 情報発信の強化 <input type="checkbox"/> 受け入れ体制の整備 <input type="checkbox"/> 関係機関の連携強化

Ⅱ 産業振興による安定的な雇用の確保

現状と課題

- 地域総生産額は平成10年度をピークに減少傾向
- 地域の産業を担っていた世代が高齢化を迎え、担い手の不足が深刻な課題
- 団体旅行の減少や海外旅行の低価格化などにより観光客が減少傾向
- 観光客が夏季を中心とする一定期間に集中

取り組みの方向性

基幹産業である農林水産業と観光の振興を図ることによって、安定的な雇用の確保を目指します。

農林水産業については、魅力ある商品づくり、商品の付加価値化及び製造・販売に関する合理化・効率化を進め、競争力の強化を図り、島外出荷の拡大を目指すとともに、担い手の確保や新たな取り組みを進める人材の育成に取り組みます。

また、木質バイオマスや海藻などの地域資源を有効活用した新たな産業の創出を目指します。

観光については、隠岐の自然・食・文化などの素材を総動員して多様な観光商品の開発に取り組むとともに、観光客に満足してもらえよう「おもてなし」の向上などにより受け入れ体制の強化を図ります。特に隠岐観光の魅力化に向けて、隠岐の新鮮な魚介類を観光客に提供するための仕組みづくりを進めます。

人材育成に関する取り組み

- U I ターン者に対する研修機会の提供や相談体制の充実などに取り組みます。
- 集落営農組織の結成や農業参入企業の確保に取り組みます。
- 地元の高校と連携した体験学習などに取り組みます。
- 観光協会の組織強化と関係者間の連携強化に取り組みます。

<主な取り組みの内容>

取り組みの方向性	主な取り組みの内容
1. 農林水産業の振興	<input type="checkbox"/> 農業、林業、水産業の振興 <input type="checkbox"/> 担い手の育成・確保 <input type="checkbox"/> ブランド力の強化 <input type="checkbox"/> 戦略製品の輸送費支援
2. 観光の振興	<input type="checkbox"/> 多様な旅行商品の提供 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化 <input type="checkbox"/> 受け入れ体制の強化（おもてなし向上、観光地の魅力化）
3. 地域資源を活用した産業振興	<input type="checkbox"/> 木質バイオマスや海藻などの地域資源を活用した産業の振興

Ⅲ 島民が安心して心豊かに暮らせる地域社会の実現

現状と課題

- 離島航路の維持と利便性の向上が求められている
- 人口減少及び少子高齢化により医療や介護、教育などの公共サービスの確保が課題
- 医療従事者や介護施設における人材の確保が喫緊の課題
- 定住の促進を図るためには生活環境の向上が必要

取り組みの方向性

島民が安心して心豊かに暮らせる地域社会を実現するため、交通体系の充実、生活環境等の整備及び医療・介護・教育などの公共サービスの充実を目指します。

交通体系の整備については、特に離島航路の充実と利便性向上に向けた取り組みを強化することとし、超高速船の通年運航の実施や運賃の低廉化、運航ダイヤの改善、予約・決済手段の多様化などに向けた取り組みを進めます。

生活環境等の整備については、引き続き港湾や道路、下水道、住宅などの整備を進めるとともに、適正な廃棄物処理の推進、消防力の充実・強化、通信環境の充実に向けた取り組みを進めます。

公共サービスについては、島民が安心して暮らせるように医療、保育、高齢者福祉及び障がい者福祉の分野において、サービス提供基盤の充実を図るとともに、そこで働く人材の確保に努めます。

また、教育について、教職員の適正配置に向けた取り組みを進めるとともに、校舎等の耐震化や教育機器の整備などの教育環境の充実を図ります。

人材育成に関する取り組み

- 医療従事者等の確保に向けて、引き続き関係機関と連携して取り組みを進めます。
- 人材確保に繋げるため地元の高校などとの連携を強化します。
- U I ターンを促進し人材確保に繋がります。

＜主な取り組みの内容＞

取り組みの方向性	主な取り組みの内容
1. 交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> □超高速船の通年運航の実施など離島航路の利便性向上 □来居港の防波機能の強化と旅客上屋の改良に向けた取り組み □離島航路の運賃低廉化に向けた取り組みの推進
2. 生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> □道路、港湾、下水道、住宅整備の推進
3. 医療・介護・教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> □人材確保によるサービス機能の強化 □島外での妊婦の出産・健康診査に係る交通費等に対する支援 □教職員の適正配置に向けた取り組み

IV 隠岐の豊かな独自の自然・文化の保存・継承

現状と課題

- 隠岐諸島は、南方系、北方系、高地性、大陸性などの植物が混在するとともに、多くの固有種が存在する独自の生態系を有している
- 隠岐固有の特色ある伝統芸能や伝統行事、文化財が残されている
- 森林荒廃や海岸漂着ゴミの問題を解決する必要がある
- 住民自らが隠岐の自然・文化の価値を理解し大切に思う気持ちが必要

取り組みの方向性

隠岐の豊かな独自の自然・文化を保存・継承していくため、自然環境の実態把握や外来植物の駆除、隠岐固有種の保護活動に取り組むとともに、伝統芸能や伝統行事、文化財の記録や調査研究などを行います。

隠岐では、貴重な地質遺産や独自の生態系などを隠岐ジオパークとして、交流や教育などに活用していく取り組みを進めています。こうした取り組みを拡大していくために、隠岐ジオパークの世界ジオパークネットワークへの加盟を目指します。

また、自然環境との共生を図るため、再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、自立・分散型エネルギーシステムの構築に向けた取り組みを推進します。

人材育成に関する取り組み

- 住民に向けて体験や学習などの機会を提供します。
- 幼少期から隠岐の自然や文化に接し、学べる機会を提供します。
- 住民主体の取り組みの推進に向けて、保存・継承活動などを支援します。
- 住民との協働による里山・里海づくりを推進します。

＜主な取り組みの内容＞

取り組みの方向性	主な取り組みの内容
1. 自然環境の保全と活用	<input type="checkbox"/> 実態把握の実施、希少動植物の保護 <input type="checkbox"/> 隠岐ジオパークによる交流やふるさと教育の推進 <input type="checkbox"/> 住民参加による里山・里海づくりの推進
2. 文化財等の保存継承	<input type="checkbox"/> 文化財等の記録や調査研究の実施 <input type="checkbox"/> 保存継承を担う人材の育成
3. 循環型社会の形成	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの導入推進 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、適正処理の推進

V 災害に強い安全安心なまちづくりの推進

現状と課題

- 東日本大震災では津波による未曾有の被害が発生
- 四方を海に囲まれた隠岐においては津波対策や孤立に備えた対策が必要
- 災害による被害を軽減するためには、行政だけでなく住民一人ひとりの備えの強化が求められている

取り組みの方向性

災害に強い安全安心なまちづくりを推進するため、東日本大震災の教訓を踏まえ、津波対策や災害発生時の孤立防止と孤立時の対策に力点を置いた防災体制の充実・強化を図るとともに、その他の災害についてもハード・ソフトの両面から災害対策の強化を図ります。

人材育成に関する取り組み

- 自助・共助の取り組みの強化に向けて、防災教育や防災訓練の実施などにより住民の意識醸成を図ります。
- 地域における自主防災組織の結成や、災害時要援護者支援の取り組みなどを推進します。

＜主な取り組みの内容＞

取り組みの方向性	主な取り組みの内容
1. 津波対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> □海岸保全施設や港湾・漁港施設などの津波対策の実施 □津波避難計画の策定、避難訓練の実施
2. 孤立対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> □避難・輸送路の災害対策の強化 □情報伝達・通信手段の確保 □防災拠点や避難所の機能強化
3. 風水害等の災害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> □治山、治水、砂防施設などの整備の推進 □避難情報の発令基準・伝達方法等の確立 □災害時要援護者の避難支援体制の構築 □自主防災活動の推進